Ⅱ　花き（切花）情報

10月（中旬）までの経過

９月下旬の入荷量は平年をかなり上回り、かつ曇雨天で弱保合であったため、相場は平年をやや下回った。一転して10月に入ってからは９月から続く長雨や台風の影響により、各産地では生育不良や品質面への影響があり、入荷量が平年を下回ったため、10月上旬の相場は平年をかなり上回り、中旬の相場はやや上回った。

販売経過　（東京都中央卸売市場大田市場）

項目	経　過
入荷量	９月下旬に台風や秋雨前線等の影響を受け、降雨が多く日照も少なかったことから、生育不良等が発生し、10月上旬の入荷量は平年をかなり下回り、10月中旬の入荷量は平年をやや下回った。
相場	９月下旬は入荷量が平年をかなり上回りかつ曇雨天で弱保合であったため、平年をやや下回った。一転して10月に入ってからは入荷量が平年を下回ったため、10月上旬は平年をかなり上回り、中旬はやや上回った。
動向	９月から続く長雨や台風の影響により、各産地では生育不良や品質面への影響が懸念され、切り花の入荷は減少傾向にある。 また10月に入り、店頭ではパンパスグラス等のその他草花やツルウメモドキ、野バラ、ユーカリ等の枝物が多く見られ、ハロウィンや秋の装飾需要が本格化している。

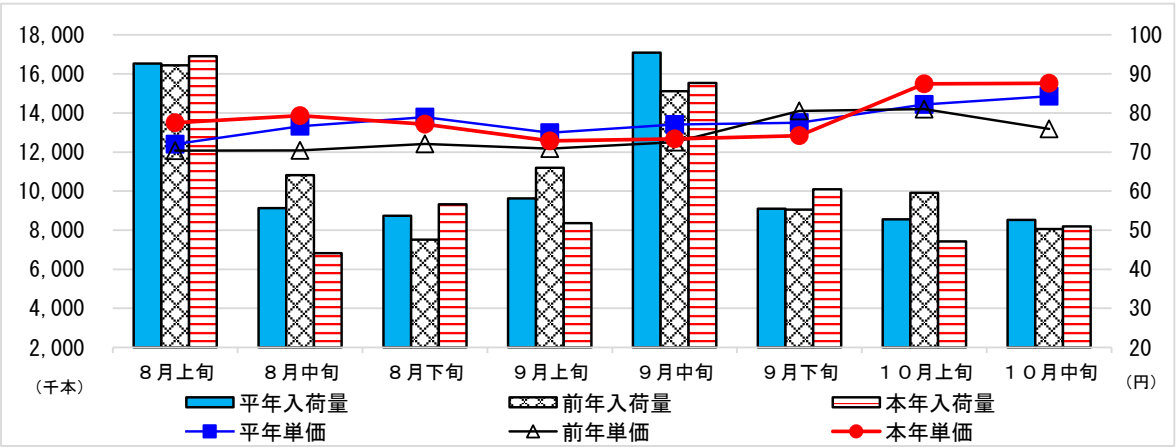
品目別経過

品目	経　過	
ガーベラ	㈱大田花き	九州では干ばつ、その他の産地では日照不足や長雨の影響により採花数量が少なく、品薄・高単価で推移した。下旬には数量が回復し、相場も徐々に落ち着いた。
コギク	㈱大田花き	長雨の影響により、秋田県・福島県・茨城県では生育不良が発生し、出荷数量の少ない入荷となった。販売面では、上旬は天候不良により厳しい販売となったが、中旬以降は天候が回復し、堅調な販売となった。
バラ	㈱東日本板橋花き	9月長雨の影響で生育が良くないため、国産は少ない入荷が続いた。下位等級中心だった西南暖地は少しずつ上位等級が増えてきいる。輸入物はインド産がスタートした。

11月の見通し

品目	見　通　し	
カーネーション	㈱世田谷花き	徐々に入荷量も増え引き合いが強くなるが、色目によって差が出る見込み。
ガーベラ	㈱大田花き	10月に数量が少なかった反動により、数量・品質ともに向上する見通し。特に据え置き株がトップシーズンを迎え、発色も品種本来の状態となるため、需要の高まりが期待される。

10月の入荷量と単価の経過≪確定値≫〔㈱大田花き〕



花き流通情報連絡協議会資料より作成　平年値は過去３カ年の平均